



SESERAGI—MISHIMA  
ROTARY CLUB  
WEEKLY REPORT

クラブ  
週報

2014～2015年度 RI会長 ゲイリー C. K. ホアン  
RIテーマ ロータリーに輝きを

クラブテーマ「感謝の心で出席しよう」会長 矢岸貞夫

副会長 鈴木政則 幹事 小林 勝

第1204回例会  
2014.10.24(金)晴

司会:岡 良森君 指揮:山口辰哉君  
ロータリーソング「それでこそロータリー」

事務所 三島市中央町4-9 小野住環中央町ビル2F  
TEL.055-976-6351 FAX.055-976-6352

<http://www.seseragi-mishima-rc.gr.jp>

せせらぎ三島ロータリークラブ

検索

例会場 ブケ東海三島

TEL.055-984-0120  
毎週金曜日 第1・第3 夜間例会

会長挨拶

会長 矢岸貞夫君



こんにちは、今日はゴミ減量について話します。

10月は3R推進月間ということをご存知ですか？3Rとはリデュース(減らす)・リユース(再利用する)・リサイクル(再生資源にする)によるゴミ減量の取り組みの事です。

◎リデュース(減らす)とは、

皆さんができることとしては、詰め替え商品を購入し容器を捨てないようにすることや、外食をする際に割り箸ではなく「マイ箸」や洗って使える箸を使う等があります。また、生ゴミの量を減らす工夫をする事も大切です。

◎リユース(再利用する)とは、

同じものを何度も使ったり、不用品をハサビやフリーマーケットに出して必要としている人に譲るといった取り組みです。

◎リサイクル(再生資源にする)とは、

いくら減らす努力をしても、家庭から出るゴミをゼロにすることは難しいことです、資源になるものをリサイクルに出します、資源ゴミとして回収されたものは形を変えて新しく生まれかわれます。

さらに2つのR、リフユーズ(断る)・リペア(修理する)を加えて5Rとして一歩踏み込んだ取り組み方もあります。

◎リフユーズ(断る)とは、

必要のないものを買わない・過剰な包装を断るといった、ゴミになる不要のものを家庭に持ち込まないという取り組みです。

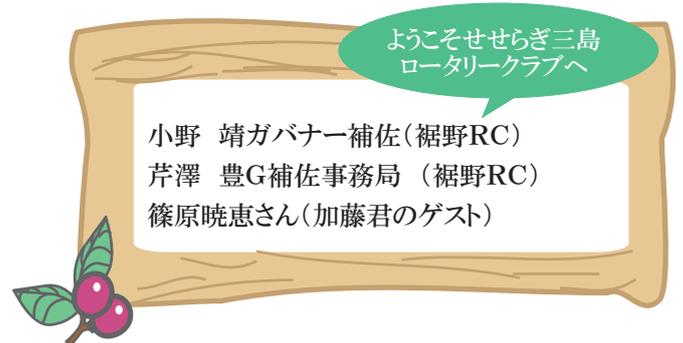
◎リペア(修理する)とは、

壊れたものはすぐに捨てない、ちょっと修理をするだけ、またもとのように使えるものもたくさんあります。ものを大切に長く使用することが、ゴミを減らすことにつながります。

沼津おもちゃ病院は「物を大切にする心、工夫する喜びを伝えたい」という趣旨で、昭和52年に開設され、37年間にわたりボランティアでおもちゃのドクターと呼ばれる皆さんがお

もちゃの修理を行っています。

以上のように人や自然に優しいエコガーデンを目指して、一人ひとりがゴミ減量に取り組みましょう。三島市では、市民一人当たり一日に出るゴミ排出量は1064gです。県内10万都市ではワーストワンです。ゴミの量が減ると、焼却に伴って発生する二酸化炭素が減少し地球温暖化防止につながります。毎日の小さな心掛けや工夫をしましょう。



出席報告

	出席総数	出席率	メイクアップ	修正出席率
前々回	30/36	83.33%	35/36	97.22%
今回	29/36	80.56%	会員総数	37名
欠席者	あなたが見えなくて残念でした。			

大房君、小島君、杉山(隆)君、田中君、土屋君、仲原君、宮澤君

今日の料理



米山記念学友会副会長 篠原暁恵さん



篠原と申します。私は台湾台北の出身であります。台湾の教育制度は日本と同じように義務教育は小学校6年、中学校3年で、その後受験をし、3年の高校と5年の高校専門学校があります。私は5人兄弟の長女で、当時台湾で初めての9年制の義務教育第1

期卒業生でもあり、高校受験の成績は学校の評価にも関わりました。そのため、中3の1年間は受験勉強に専念しました。普通高校を選択すれば、3年後に大学受験が控えており、それがいやで楽な5年制専門学校を選びました。当時、父の仕事が設備設計施工事務所の共同経営者であり、その影響を受け絵を描くことが好きな理由で建築設計を選びました。

専門学校を卒業して、建築設計事務所で働き5年目の時、父が日本を企業視察するために私も同行することができました。初めての外国で、高層ビル・新幹線・地下鉄・ディズニーランドを目にして、今でも驚きと感激を憶えています。帰国後、是非日本で勉強したいと父に話しました。その時、父が日本で勉強したことを知りました。そのこともありスムーズに留学することができ1年間日本語を勉強して、千葉県にある日本大学生産工学部建築工学科専攻に入学しました。大学4年を勉学に専念し、大学院に進学することになったときに父が急死したため、米山記念奨学金を応募することになりました。

私が奨学生になった1985年の時代は1ドル360円で、母国からの送金で学生生活をするのは母親にとっても重い負担をかけました。当時奨学金を受け取るために、毎月例会に出席し、自分の研究についてレポートを提出して近況報告しました。今回の卓話は、その時のことが思い出されます。私の世話をしていただいた千葉船橋西RCはアクの活動もさかんで、日本の若者たちとの交流もできました。2年間の奨学生生活で、私は日本の伝統行事を体験し、文化について学ぶことができました。またRCのさまざまな奉仕活動を通じて国際親善や社会貢献などを行う団体であることを知ることができました。奨学生として貴重な経験を得ることで無事に日本の会社に就職もでき、日本人の主人と結婚して、企業の社宅生活、地域での生活に溶け込むことにも役にたちました。

台湾のことわざ「水を飲めば、その源を想う」「人の恩を受ければ、10倍恩返し」とあり、その時、機会があれば自分ができる範囲で社会貢献することを誓いました。歳月が流れ、平成5年娘を出産し、主人の転勤とともに三島に定住し、主人の案内で米山記念館を見つけた時の興奮は今でも忘れません。

平成16年学友会創立のお知らせが届きました。総会に出席し資料を見てびっくりしました。なんと私の名前が一番であり、いつのまにか私は最年長になっていたのです。光陰矢の如し！ 歳月人を待たず！ 日本に留学して早くも34年になり、故郷にいる時間より日本の生活の方が長くなりました。子育てが一段落する中で学友会から役員の職を依頼されたときに、今こそ私が恩返しするときでもあり、微力ながらお手伝いさせていただきます。

第2620地区米山記念学友会について

2008～09年度の三島RCの小野毅委員長により、その年青森の第2830地区に学友会が結成されたニュースを知り、米山梅吉翁のお膝元の地域が最後の地区になる危機感の中で、2009年3月(牧田ガバナー)創立されました。創立以来毎年地区大会の会場で、お国自慢のコーナーを設けてお茶のサービスを行いました。また、米山記念奨学委員会の業務を補助させてもらっています。今年度は創立5周年の文集を作成しました。また、11月山梨県で日本文化について勉強、奉仕活動とロータリアンとの親睦交流合宿会を企画しております。こうして台湾・中国・インドネシアなど12か国の学友が在籍中です。帰国者を除いて現在第2620地区は合計88名の学友で、現役奨学生は19名が在籍中です。

最後に、皆様にお伝えしたいのは、いま私がここにいるのは、すべて米山記念奨学金のおかげであることです。米山記念奨学金は皆様のご寄付であったことに、この場をお借りして心から感謝申し上げます。また引き続きのご寄付をお願い申し上げます。



## スマイルボックス

**加藤正幸君:** 本日の卓話に台湾出身の篠原様にお話しをお願いしました。ロータリークラブが大好きな方です。

**小林 勝君:** 皆さん、ボクシングは好きですか？先日世界フェザー級王者フィリピンの英雄ドネアがジャマイカの選手にKOで負けました。又、ロンドンオリンピック金メダリストの村田諒太がプロ転向するきっかけとなったミドル級王者ゴロフキンはメキシコの選手を2回KOで勝ちました。このゴルフキンは31戦負けなしの31連勝中です。村田諒太は勝ちますかね？

**中村 徹君:** 昨日三島青年会議所主催、10月例会講演会へ行ってきました。講演者、青木仁志さんは30歳の時、5名で会社を興し、34歳で青年会議所に入会、経営者としての心得を勉強され、現在、59歳、従業員500名の人材コンサルティング会社を経営されています。胸にはロータリーバッジをつけ、(東京中央ロータリークラブ所属)リーダーの資格は目先の利潤を求めるのではなく、顧客満足度を高め、高い倫理基準を保つという職業奉仕の実践を具体的な内容でお話されました。「ロータリーの友」には企業の成功の秘訣と人生の指針がいっぱい詰まっていることを改めて知らされました。ロータリーの仲間として、いつかクラブ訪問して、お話ししたいと思いながら帰途につきました。

**中山和雄君:** 先週の土曜日から日曜にかけて大阪から東京に在住している高校(日田林高)の同級生8名が三島に集まり、内5名は50年ぶりの再会でした。三島駅南口に12時集合、澄乃坊にてうな重で昼食、沼津の深海魚水族館を觀て長岡温泉かめや恵庵に宿泊し、温泉につかり伊豆の海の幸で一献をまじえ、昔話について先日のような、また走馬灯のようにいろいろなことが頭をよぎってきて大変楽しい時を過ごし、翌日は内田さんの貸し切りバスにて箱根を経由し表富士の5合目まで行き帰りに白糸の滝により16時30分三島駅北口にて解散しました。大変リフレッシュしましたのでスマイルします。